



みずたにくみ 議員

暮らしを支える予算編成に

町長 持続可能な財政運営を行う

異常な物価高騰が収束しない。一回当たりの値上げ率平均は、15%となり町民の暮らしを支える予算編成を求める。

問 公共料金の引き下げも視野に入れた予算編成を。

答 全国的な推移や国・県・近隣市町の動向などを踏まえ、調査研究する。

問 新規、廃止事業などや各種団体補助金への見解は。

答 町民ニーズが低く、国県の補助金打ち切り事業を見直し、必要な事業を選択する。

問 所得減税などの対象とならない「はざま」世帯へ町単独施策の予算化を。

答 国の総合経済対策の概要が示され、定額減税対象者には迅速で丁寧な対応に努める。

問 重要施策への情報公開や透明性の確保は、町民が行政を信頼する基礎になる。公共の利益が守られるのは、町ではなく町民ではないか。

答 公正で開かれた町政を目指し、町民の「知る権利」を尊重する観点から事業に支障のない範囲で情報公開に努める。



新しい季節の始まり

更に安心安全な学校給食を

教育 課題解決に議論を尽くす

「給食も学校教育の一環」として取り組まれてきた県内でも誇れる当町の給食は、施設の老朽化、少子化、調理員確保など再検討が求められる。

問 新年度の給食費の公費負担（今年度2割）の考えは。

答 現在の公費負担に加え物価高騰分、デザイート補助で3割相当の公費負担を検討している。

問 第一弾の拠点方式の評価と今後の計画は。

答 養老小に調理員が集約され人件費や食材購入コスト削減、施設整備が促進した。今後は各学校の実態を把握し、方向性を議論していく。

答 公会計化になれば町内全校の食材を一括購入することになり、地元業者に対する配慮の観点から現状困難。今後、全校拠点校化が導入された段階で、公会計化を議論していく。

問 オーガニック給食が広がっている。導入への考えは。

答 児童・生徒数に見合う食材確保が難しい。コスト面でも課題がある。



写真提供 NPO法人メダカのがっこう 全国オーガニック給食フォーラム実行委員会

問 給食を提供している公立学校の6割が給食費の徴収を学校が担っている。給食費は、市町村が徴収することが基本である。公会計化を導入すべきではないか。

他に「ゲートキーパー」(悩んでいる人に気づき声をかけてあげられる人)養成研修について」の質問もしました。

道路等インフラの課題と問題は

町長 計画を持って実行



にしわき やすし 議員

町では913kmの町道と橋梁574橋を管理している。1年あたりの整備額は13億円ほどとなり、今後も維持更新に多額の経費がかかる。

問 道路の要望をどのように連携し対応していくか。

答 土木要望や通学路安全プログラムその他、随時各地域からの情報提供を元に現地確認を行い、国道及び県道を管理する機関と情報共有して、修繕等を行う。

問 養老公園周辺の道路渋滞の対策は。

答 携帯ナビを運営する企業に問い合わせたが、特定区間を変更することは困難との回答。県大垣土木事務所長に対し看板設置等による対策を要望した。大垣養老公園バイパスの早期完成に向け引き続き要望を行う。

答 橋長2m以上の橋は568橋あり、年100橋を5年に1回のサイクルで点検を実施。早期に措置を講ずべき状態の9橋については順次修繕を行う。

問 基盤整備事業の道路拡張工事に伴う幹線道路の計画は。

答 大巻地区を東西に走る大巻53号線の拡張を計画している。また、大型農業車両に耐える道路幅幅を行う他南北に抜ける基幹農道を整備する。



町内道路工事現場

令和6年第1回定例会を3月に開催予定です。ぜひ傍聴にお越し下さい。

詳しい日程については、「広報よろう」3月号と町ホームページでお知らせします。一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会の様子をライブ配信で見ることができます。

養老町議会では、町ホームページまたはLINEの公式アカウントより定例会の様子をライブ配信し、議会当日の様子がご覧いただけます。また当日は、役場ロビー設置のテレビで放映しています。



議会QRコード

